



墓地側から眺めた新庫裏外観



HP



インスタグラム



LINE



第 145 号
(令和 7 . 7 . 1)
信 楽 寺

〒690-0052
松江市堅町 88
TEL (0852) 21-1589
FAX (0852) 21-1590
郵便振替口座番号
01450-3-13538
山陰合同銀行 本店営業部
普通預金 No. 3147251
宗教法人 信楽寺
代表役員 内田広平

ぼんせがきほうよう
盆施餓鬼法要
ご案内
令和 7 年 8 月 4 日 (月) 午前 10 時より

今年初盆を迎える仏様を皆さんでご回向しましょう。
ご自身のご先祖様を供養する為にも是非お参り下さい。

10 時 00 分 ~ 11 時 00 分 法要
11 時 00 分 ~ 11 時 20 分 挨拶

終了・解散

※お袈裟・お数珠をお持ちの方は携帯下さい。
※服装は普段着で結構です。
※初盆のご家庭は是非お参り下さい。
※初盆のご家庭に限り、何人でものお参りかお知らせ下さい。
※同封封筒にてご回向申し込み下さい。
※マスクは各自の判断に委ねます。

お盆前
信楽寺墓地 一斉清掃
松尾町墓地

8月2日 (土) 午前 6 時 信楽寺本堂にておつとめ
午前 6 時半より清掃

※冷たい牛乳を用意しております。
墓地をきれいにしてお先祖様をお迎えしましょう。
掃除道具をご用意下さい。
暑い中ですが宜しくお願いします。

お盆のおつとめ(棚経)について七頁下段をご覧下さい
日にちの変更などご連絡下さい

お念仏と効率性

住職

楽 蒼 広 平
ぎやうほう

観測史上最も早い梅雨明けとなりました。このまま水不足になり、令和の米騒動に拍車がかからないかと危惧しています。

また、お盆中の天気が気になります。台風による雨風の影響が無い事を願いながら夏の行事が無事に済むことを願っています。

普段から事務仕事に苦手な私は毎回のつきかぎの編集、発送準備に手を焼いています。

最近の事務仕事には、お寺と云えどもPC（パソコン）は必須であります。その上AI（人工知能）やらチャットGPTなど、事務の効率性を上げるソフトが必需品となりつつあります。

若い人との会話に最近気になるのが効率性というワードです。それだけ現代人は忙しく効率性を高めることによつて、無駄な時間を省き、数多くの仕事をこなしたり、空いた時間を少しでも自分の余暇に使いたいと思つているのでしょう。

そんな現代人にとつてお念仏は一番効率性に乏しく、また生産性の無い、無駄なものと思えても仕方ない様な気がします。

効率性を追求することは大切なこ

とではあります。宗教に於いては如何なものでしょうか。

思い通りにならない、苦しみ悲しみを重ねていかなければならない毎日であつて、効率性によつて本当の意味で、幸せに豊かに生活していくことが出来るものか疑問に思われます。

目には見えないあの世に救われる為のお念仏。阿弥陀仏の世界、西方極楽で先に亡くなった懐かしい方々と会える喜びこそが、お念仏の功德なのです。

法事のおつとめの最中、各自に木魚を用意して約7〜8分、数にして約500回のお念仏をお称えしています。

最中に木魚が転げ落ちるのがおかしかったり、リズム感の無さを嘆いてみたり、お称えすること自体に疑問、迷いを感じながらのお念仏に何の意味も価値もないのでしょうか。

効率性が優先される時代だからこそ、せめてお寺にお参りした時だけは、日常から離れた環境に身を置き、その姿のままでお念仏をお称えしてみて下さい。

それが法然上人の勧めるお念仏なのですから。

永代供養塔増設について

今の永代供養塔は先代住職の戦没者慰霊の為、水子供養の為、多くの魂を慰める為に発案し、平成14年寺報のお盆号にその計画を載せ、完成をみました。

今から23年前のことです。その当時は永代供養とは何ぞや、ほとんど世間に周知されることも有りませんでした。

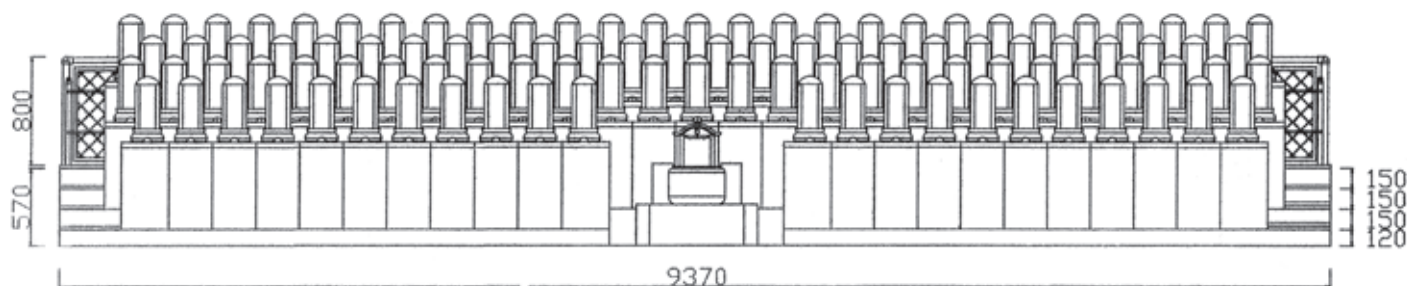
その為この供養塔があれば私の代までは世の中のニーズに対応していけるものと思っていました。が、近年永代供養を希望される方が増え、とうとう永代供養の石位牌納骨、各家ごとにお骨を納骨出来る永代供養の場所が無くなってしまいました。

現段階でもお待ち頂く方もおられ、今回下記図面の様に、現永代供養塔に繋がる形で、供養塔の向かつて左側（東隣）に計画し、今年中には完成をみたいと思っております。

費用は全額当山積立金にて行います。

現永代供養と同条件にて受け付けたいと思います。

お盆明けからかかりたいと思つていますが、その間皆様にはお参りにご不便をお掛けしますこと何卒ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。



完成予想図

日本ワインと僕の歩み

赤松 英一



「つきかげ」には第131号の先代住職様追悼号に「温顔とお酒と真面目な話」という文章を書かせていただいて以来の寄稿となります。そこでは、大学入学直後に学生運動―社会運動に身を投じて以来、50歳を前に転身してワイン用葡萄栽培を仕事とするに至った人生の様々な局面での先代和尚様とお付き合いを思い出して、心から感謝の念を述べました。

あれから7年、その後独立・起業して自社のワインを世に送り出すに至った歩みを報告させていただくことにします。

僕は1996年に山梨県の中央葡萄酒株式会社（ブランド名はグレイスワイン）に入社することによって、日本のワインづくりの歴史の転換点に立ち会うことができました。

それまで農家が生食用につくったブドウの余りを原料に、甘味果実酒や土産用ワインをつくっていた業界の中で、世界で通用する本格的なワインを作らなければ未来はないと考える動きが生み出されたので

す。欧州系ワイン専用品種のブドウを国際基準の垣根栽培で育て、品質で世界と肩を並べるワインを作ること。そうして培った栽培と醸造の力をもとに、日本固有のブドウ品種から世界に認知されるワイン（具体的には甲州種の白ワイン）を生み出すこと。こうした方向を指し示した指導者が元メルシャンの麻井宇介氏であり、その実践の先陣を切った若手経営者の筆頭が中央葡萄酒の三澤茂計氏だったのです。

僕はそのもとでブドウ栽培を担当し、勝沼や明野に農場を拓き運営すると共に、ユニークな事業を発案

し軌道に乗せました。ワイン愛好家にブドウ栽培を教え、ボランティアク栽培集団に育てる「栽培クラブ」という組織で、山本博編『ブドウと生きる―グレイス栽培クラブの天・地・人』（2015

年 人間と歴史社刊）という著書にその実践がまとめられています。

そしてその会員の中から、自らブドウ栽培農家に転身したいと希望する人たちが生まれるに及び、彼らと協力し、2020年に「明野ヴィンヤード合同会社」を立ち上げ、翌21年2月の農場を開園しました。日照時間日本一を誇る銘醸地・明野の標高800mに位置する農園は軌道に乗り、委託醸造によって23年及び24年には9種類のワインをリリースし、幸いにして好評を博しています。

今度松江に行く時は、先代和尚様にこの歩みを報告し、現和尚様ご家族とワインを楽しみたいと考えています。



柳 壇

4月

- ・花の色人は心で咲いてみせ
- ・各地各様イベント多数花盛り
- ・大阪万博輝く未来の社会へと
- ・万国祭典大入り会場歓喜の輪
- ・バチカンで教皇との別れ25万人

5月

- ・葬儀参列弔問外交の良き機会
- ・旅疲れ家が一番ついゴロ寝
- ・カッコーの声たからか立夏をつけ
- ・朝稲田水面鐘静かなり
- ・空いっぱい屋根を吹きぬけ鯉のぼり

一日一生を生きる

- ・闇バイトおどしおどされクモの糸
- ・大谷の経済効果無限大
- ・内閣支持率日米会談を評価する
- ・人の世は支え支えつ歩む道
- ・人生は標識のない道ばかり
- ・減反の付けが廻って米騒動
- ・農作業始まり告げる果樹の花

老夫婦生活

- ・駅伝見かさね合わせて頑張ろう
- ・節分に子供はなしの豆拾ひ
- ・探しものやつと探して置き忘れ
- ・何ごとも失敗おそれず挑戦を
- ・比較してどうなるものか俺は俺れ
- ・腹八分守ったはずのつまみ食い
- ・暮らすから生きることえ切りかえる
- ・掃除機も故障するまで使い切る

小倉俊城

歌壇、俳壇、柳壇、投稿お待ちしています。

ご先祖、瀧川一益のこと②

瀧川 正靖



さて、一方で京都の長興院には瀧川一益の息子、瀧川一忠・九天宗瑞（くてんそうずい）と織田信孝の供養塔もあり、当然、津田秀政と津田家当主代々のお墓があります。

津田家や長興院向井僧正様、仁和寺御門跡瀨川大秀様、大先輩、Takigawaファミリーその他ご縁の誰一人として欠けたらお参り出来なかったと思うと、とても不思議な気持ちです。



◎大本山塔頭 長興院

開祖は妙心寺五十六世九天宗瑞。

天正9年（1581）、瀧川一益（たきがわかずす）の長男である九天を開祖に創建、当初は腸谷（ようこく）庵と称する一庵が作られました。

その後、慶長11年（1606）に、津田秀政（つだひでまさ）の戒名からとり、その菩提を弔う為、長興院と改められました。津田秀政は、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三大の名特に仕え、晩年は茶人となり興庵（こうあん）と号し、91歳まで生きました。



長興院の本堂は、近年再建されたものですが、その基礎になった建物は、妙心寺の中で最古の建物である開山堂です。現在の開山堂は、応仁の乱



によって妙心寺が全焼した際、東福寺より移築されたものですが、長興院の本堂は、それを参考に五百年前の建物を再現した、本格的な本堂造りの建造物です。

瀧川一益の墓所は島根県松江市信楽寺と、ここ長興院そして福井県霊泉寺にあるとされています。松江の信楽寺や我が家にも色んな言い伝えや文書がありましたので、繋ぎ合わせるのは大変ですが、これで信楽寺と長興院には来られたので次は霊泉寺にも行ってみたいと思います。



瀧川の過去帳の中で写真の残る一番古い人物である瀧川正勝は黒船来航3年前の嘉永3年、1850年に生まれ、激動の時代を生き抜いた人物です。5・15事件の1932年（昭和7年）に82歳で亡くなりました。正勝の人生は日本の近代史と重なります。

正勝の息子である正清は1892年、明治25年に生まれ、写真の通り、



容姿端麗でした。正清は、その息子の瀧川正久が第二次世界大戦終戦後にマレー戦線から、命がけで帰還する前の1946年、昭和21年に、若くして54歳で亡くなっていました。彼らの人生は戦争に翻弄された世代の象徴です。

1918年（大正7年）生まれの瀧川正久の家族には、正久、妻・みのり、長女・まみ、次女・のぶ子、三女・あさ子、長男・正靖がおります。学徒出陣から帰還した正久は外交官となり、ロンドン、ローマ、ニューヨーク、アルゼンチン、ドミニカ共和国、スウェーデンなどで活躍します。



瀧川正久が2005年（平成17年）に亡くなった際に戴いた、勲二等旭日重光章は、天皇陛下（現在の上皇陛下）から賜った、名誉ある勲章であり、ドミニカ共和国大使、公正取引委員会委員、スウェーデン大使などを歴任した受賞者、瀧川正久の功績を称えています。2025年は瀧川一益が生まれてからちょうど500年になります。500年もの間、その歴史が語り継がれているのは素晴らしいことです。改めてご先祖様に感謝いたします。

合掌

親子3代続く松江墓参り

大阪市 森



新しく建立したお墓（昭和63年）



江戸時代から続く先祖のお墓



父 保



母 作代

現在のお墓は、亡き父森保が昭和63年に新たに建立したものです。私たち森家は、宝塚市や大阪市など関西を生活圏にしておりますが、受け継いできた情報では、「森家の先祖は松江藩士であつて、明治になつてから関西に移り住んできた。」ということだけが伝わっていました。調べて行くと、松江藩士で郡奉行兼御勝手方の森文四郎に辿り着き、信楽寺さんにお墓があることもわかりました。文四郎は、明和4年（1767）に藩財政の立て直しに家老朝日丹波とともに取り組み、格式は「組外」に上り禄は130石になります。彼の号は「元綏」とあり、戒名にも確認できます。のちにそのことを記した「治国譜考証」という書物を残していたため郷土研究資

料にも度々登場しており、お墓まで辿り着くことができました。江戸時代より続くお墓はたいそう立派なものでしたが、墓石が相当傷んでおりましたことから新たに建立することとなりました（写真は先代のご住職）。父と母の作代は、信楽寺さんがたいへんお気に入り、で、足しげくお墓参りにかよっておりました。父が他界したあとは、母は一人で大阪発・松江行きの高速バスに乗って毎月お墓掃除に通っておりました。その母も令和2年に他界し、ご先祖さまとともに信楽寺さんに眠っております。現在は、わたくし達摩がお墓参りの任務を引き継いでおります。父母のように毎月のお参りは無理ですが、2〜3カ月に一度のペースでお参りさせていただいております。娘の祐子、文香、妻のひとみとお墓参りをすることも多く、たまにですが、玉造温泉に宿泊して松江観光を楽しんでいます。信楽寺さんは、楽しいご住職さま、若住職さま、ご家族がおられ、森家にとって心安らぐ場所になっています。これからもよろしく願います。

南無阿弥陀仏



家族とご住職さまと先祖供養（令和6年11月）



母の納骨の翌日の朝にみた大橋川にかかる虹（令和2年）

令和6年度 信楽寺維持費会計

(自 令和6年4月1日～至 令和7年3月31日)

収入の部

単位 (円)

	令和6年度予算	令和6年度決算	令和7年度予算	備 考
維持費収入	3,280,000	3,518,000	3,350,000	
繰越金	208,359	208,359	279,112	
合 計	3,488,359	3,726,359	3,629,112	

支出の部

単位 (円)

	令和6年度予算	令和6年度決算	令和7年度予算	備 考
課金(宗費他)	600,000	712,500	750,000	浄土宗宗費・組費など
法要行事費	540,000	392,511	400,000	盆施餓鬼・十夜法要・春秋彼岸法要
教化布教費	90,000	90,736	100,000	書籍購入費・浄土宗新聞代
会議費	60,000	41,350	50,000	総代会・世話人会
つきかげ印刷代	220,000	213,400	220,000	年2回印刷代
租税公課	120,000	111,600	7,400	固定資産税
火災保険	360,000	355,980	360,000	本堂・庫裡・山門・聖徳太子堂・消防設備点検
庶務費	320,000	314,393	320,000	コピー機、AEDのリース料
通信費	370,000	421,545	450,000	つきかげ発送代
助成費	30,000	30,000	30,000	詠唱会へ
税理士報酬代	160,000	156,832	160,000	
水道光熱費	250,000	250,000	330,000	
雑費	360,000	356,400	430,000	松、樹木剪定代、盆前・年末大掃除お手伝い謝費他
予備費	8,359	0	21,712	
合 計	3,488,359	3,447,247	3,629,112	

 $3,726,359 - 3,447,247 = 279,112$ (次年度繰越)

会計監査 令和7年7月7日

決算書類を監査し適正に処理されていることを認めます。

森 田 豊 印

吉 岡 利 夫 印

※悪用防止のため、認印を省略しています。

蛍光灯の生産中止、省エネ対策の為に、一部(ホール一階、客殿の照明)を除きLEDに交換しました。



令和7年度年会費納入のお願い

令和7年度年会費未納のお宅は
早めに納入頂きますようお願い申し上げます。

令和6年度寄付金総額 一金 520,000円



年回法事の寄付として頂いた総額です。

この寄付金は次の様に使わせて頂きました。

・客殿床下シロアリ予防費用

追善寄付

為 夫追善	金一封	施主 瀧川千由子
為 長男追善	金一封	施主 大濱 徹也
為 母追善	金一封	施主 内田 広平
為 妻追善	金一封	施主 岩崎 修
為 父追善	金一封	施主 松谷 昭夫
為 母追善	金一封	施主 伊藤 俊之
為 妻追善	金一封	施主 西川 省造
為 母追善	金一封	施主 青戸 吉規
為 母7回忌追善	金一封	施主 宅和 春雄
為 先祖代々追善	米一袋	施主 伊藤 益男
為 父追善	金一封	施主 中井 利光
為 両親25・17回忌追善	金一封	施主 西川 恵子

為 母追善	金一封	施主 原 伸一
為 母追善	金一封	施主 北尾 正樹
為 夫追善	金一封	施主 藤堂 都
為 次男追善	金一封	施主 宅和 春雄
為 父追善	金一封	施主 大野 豪俊
為 母追善	金一封	施主 錦織 弘宜
為 母追善	金一封	施主 梅田多香子
為 祖父追善	金一封	施主 長岡 純平
為 長男追善	金一封	施主 川津 公子
為 夫追善	金一封	施主 川津 公子
為 父17回忌追善	金一封	施主 森 博見
為 父追善	金一封	施主 岩原 隆
為 妻追善	金一封	施主 森田 豊

寄贈図書

著者ご本人寄贈

戦国武将穴道氏を追って
～全国穴道氏会20年の歩み～
松江市歴史叢書18

施主 穴道 正年

施主 松江市

8月16日(土)
灯笼流し

松江仏教会主催

1霊につき

500円

いつでも承ります。
申し込み下さい。



上野健太郎氏より螺鈿作りの
「般若心経額」



近所の内村金物店を閉められる事となり、掃除用具など沢山にご寄進頂きました。亡くなられた内村節男氏は永年町内会長を務め、先代とも懇志にして頂きました。



今が一番見頃です。

- ・ 8月2日(土)
墓地一斉清掃後
午前8時～10時まで
- ・ 8月4日(月)
盆施餓鬼法要後
正午より
- ・ 8月10日(日)
午前9時～正午まで

今年の棚経は本「つきかげ」に同封しております。予定表の都合がつかない方、また県外で帰郷出来ないお檀家の皆さま、ご一報いただけますと、お勤め致しますので、申込み下さい。

お盆のおつとめ
(棚経)について

令和7年 行事報告・後半行事予定

行 事	期 日	時 間	場 所	備 考
しゅしょうえ 修正会(初参り)	お正月三ヶ日本堂 にて行いました。	大晦日から元旦に かけおつとめします。	当山本堂	寺族(お寺の家族)中心でおつとめました。
新 年 会	中 止		当山本堂	
ねはんえ 涅槃会	2月中		当山本堂	2月15日はお釈迦様のご入滅なさいました涅槃の日を中心に、2月一杯本堂に涅槃図をおまつりしました。
令和7年初めての 早 朝 墓 地 清 掃	3月16日(日)	午前7時からおつとめ 午前7時半から清掃	当山本堂	春彼岸を迎える直前の日曜日に行いました。まだ肌寒さ残る中でしたが、今年最初の墓地清掃をいたしました。
春 彼 岸 法 要	3月20日(木) 春分の日	午後1時半より	当山本堂	松江市報7月号に紹介されました、落語家桂伸べえさんに来て頂き、お彼岸のおつとめの後、楽しい時間を過ごしました。 
聖 徳 太 子 祭 り	7月22日(火) ～23日(水)		聖徳太子堂	両日共に午後5時よりおつとめをいたします。修繕された聖徳太子堂に是非お参りください。夜には書いて頂いた十七条憲法写経用紙で参道を明るく照らします。
墓 地 一 斉 清 掃	8月2日(土)	午前6時おつとめ 午前6時半墓地清掃	信楽寺墓地 松尾町墓地	お盆前の一斉清掃です。綺麗な墓地にご先祖様をお迎えしましょう。今回は第1土曜日です。お間違いない様に。
盆 施 餓 鬼 法 要	8月4日(月)	午前10時	当山本堂	初盆を迎える仏様を皆さんでご回向致しましょう。
棚 経	8月1日(金) ～15日(金)			皆さんのお宅にお参り致します。同封の一覧表にて、お参りの順番をご確認下さい。
大橋川灯籠流し (松江仏教会主催)	8月16日(土)	午後7時より	宍道湖湖畔	お盆に還って来られたご先祖様を極楽の世界にお送りする為の灯籠流しです。
地蔵盆おつとめ	8月23日(土) ・24日(日)		豎町灘側 地蔵尊	
秋 彼 岸 供 養・ 永 代 供 養 法 要	9月21日(日)	午後1時半	当山本堂	前号の案内とは異なります。諸行事の都合により変更しています。ご予約を変更ご確認ください。
出雲教区檀信徒大会	10月2日(木)	午後1時より	東出雲 メモリアルホール	今年は東出雲にて行います。講師は総本山知恩院榎本了示上人からの法話と、以前当山にお越し頂いた多勢久美子氏の講演です。詳細案内はお寺にお尋ね下さい。
おてつぎ信行奉仕団 (本 山 参 拝)	10月27日(月) ～28日(火)		総本山 知恩院	コロナ以降しばらく休憩していました松江組のおてつぎ信行奉仕団を昨年より再開致しました。今年は総本山知恩院奉仕作業の後、嵐山を散策観光致します。是非一緒にお参り致しましょう。詳しいご案内はお寺にお尋ね下さい。 
十 夜 法 要	11月3日(月) 文化の日	午前9時半より受付・ 10時よりおつとめ	当山本堂	後日、塔婆の申込みを往復ハガキにて、直接ご案内致します。
出雲教区詠唱大会	未 定	午後より		年に1度の詠唱の大会です。現在人数は少ないのですが、いつでも新入会員をお待ちしております。
今年最後の墓地清掃・ じょうほんえ 浄 焚 会	12月6日(土)	午前7時	本堂正面	今まで第1の日曜日でしたが、諸行事の都合により、第1の土曜日に変更致します。今年最後の墓地清掃と捨てられずに困っているお守りお札を供養した後にお焚き上げをします浄焚会の法要にお参り下さい。

* 基本的にどの行事にもお参り頂きたいと考えております。どうぞご予約にお組み入れ下さい。

定例行事ご案内

* ご詠歌の練習 *



毎月第1・3土曜日
午後1時半より
随時新会員募集中



* 墓地清掃 *

毎月第1日曜日早朝
1・2月はお休みします。
12月は6日(土)に変更と
なります。

写経会・写仏会

毎月22日
午後1時半より
写仏も出来ます、字の綺麗さには
こだわりません。千円の参加費が
必要です、皆様お待ちしております。

いずれの会も随時参加・見学歓迎しております。詳しくは本堂前の看板にて月行事ご確認下さい。